３．学修・教育用情報システムの利用案内

（１）ＬＭＳ・ポータルサイト・メールの利用

学習・授業支援システム（LMS）はオンライン上にて、授業資料の配布、アンケート調査、レポート課題提出、テスト、掲示板による意見交換などを行うことができるシステムです。授業や学修の中で、学生と教職員間の情報共有を効率的、効果的に行うことなどを目的として導入されています。ポータルサイトは学内の各種サービスやシステムを利用するための入り口となるサイトで、大学からの重要なお知らせも通知されます。 LMS・ポータルサイトは、PC、タブレット端末、スマートフォンなどを用いて、インターネット経由で利用可能です。利用は学内外を問いませんが、LMS・ポータルサイトのログインには、学生用 DMU ID とパスワードが必要です。

大学に申請した連絡用メールアドレス宛に、重要なお知らせや、授業評価などのアンケート実施のお知らせなどが送信される場合があります。LMS・ポータルサイト・メールを確認しなかったことによる損害は学生の自己責任となりますので十分注意してください

（２）ウイルス対策ソフトウェアの利用

PC 教室の PC は、ウイルス対策ソフトウェアがインストールされています。USB メモリーを利用する際など、ウイルス感染していないことを確認してください。

また、個人所有の PC においてもセキュリティ対策を必ず行うようにして下さい。無線 LAN 環境 DARWiN を用いて学内ネットワークに接続する際に、ウイルス感染による影響を他の多くの利用者に及ぼさないためにも、ウイルス対策ソフトウェアを適切に利用してください。

（３）Microsoft Office の利用

本学では、マイクロソフト社と包括ライセンス契約（EES:Enrollment for Education Solution)を締結しています。このライセンスにより、学生個人用の PC に最新版の Office（Word、Excel、PowerPoint 等）をインストールして利用することができます。詳細については情報基盤センターのホームページを参照してください。

（４）注意事項

・情報基盤センターから提供されているネットワーク上のシステムおよびソフトウェアの利用については、情報基盤センターのホームページを参照して下さい。なお、提供している環境は、ライセンス契約や他のシステムへの移行などにより、変わる場合があります。

・システム上に保存するファイルなどは、システム障害等によりデータの破損や消失が発生した場合に備え、必ず自分の PC などにもバックアップして下さい。

・ソフトウェアなど、本学から利用可能な環境として提供されているものは、ライセンス契約に基づいて利用が許可されています。認められている範囲外での利用は絶対に行わないで下さい。不適切な利用や、不正な利用は、本人の問題だけでなく、大学全体へも影響します。